# 令和２年度
# 職人塾 報告書

職 人 塾 実 行 委 員 会

一般財団法人玉野産業振興公社

はじめに

日本国内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により不安定な状況にあります。加えて、玉野地域の基幹産業である造船業は、船舶建造の大幅な縮小が見込まれており、今後の地域経済への影響が懸念されております。

これらのことにより、製造業の新規雇用は困難な状況は今後も続くものと思われ、造船業に携わっている中小企業においても厳しい状態が当面続くものと思われます。

このような状況下におきまして、造船関係を中心とした市内の中小企業の方々が事業を安定して継続するためには、この地域に蓄積された高度な技能・技術を的確に次世代に伝承し、限られた人員で一人一人の生産性を高め、各社の競争力を強化していくことは極めて重要な課題であります。

こうしたことから、人材の確保・育成という面において職人塾の果たすべき意義は、状況は変わりながらも保持し続けております。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、高校生を対象とした「模擬インターンシップコース」と在職者を対象とした「製図の基礎及び計測研修」を中止し、職人塾の事業としては大変厳しい年となりましたが、皆様方のご支援・ご協力により令和２年度の職人塾の取り組みを何とか終えることができました。

若手技術者・技能者を対象に実施した研修を通し“ものづくりのまち玉野”の技術力向上、そして若者をはじめとした市民のものづくりに対する興味や理解が、今後本市への定住化の促進や地域の活性化に繋がれば幸いです。

最後に、この職人塾の取り組みに多大なるご協力ご支援をいただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和３年３月

職人塾実行委員会

委員長　三　宅　照　正

# 令和２年度　実 施 報 告 書

## 目　　次


第１章　組織及び役員、分科会、講師 …… 1
　第１節　組　　織 …… 1
　第２節　職人塾実行委員会 …… 2
　第３節　各分科会幹事 …… 3
　第４節　講　　師 …… 3

第２章　事業の起源・目標・指標 …… 5
　第１節　事業の起源 …… 5
　第２節　事業の目的 …… 5
　第３節　事業の必要性 …… 5

第３章　全体活動実績 …… 7
　第１節　全体活動実績表 …… 7
　第２節　職人塾実行委員会総会の概要 …… 8
　第３節　各分科会の会議概要 …… 9
　　(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要
　　(2) 機械加工分科会の議事概要

第４章　広報・啓発活動について …… 11
　第１節　マリン玉野産業フェアへの参画 …… 11
　第２節　ホームページでの広報 …… 11

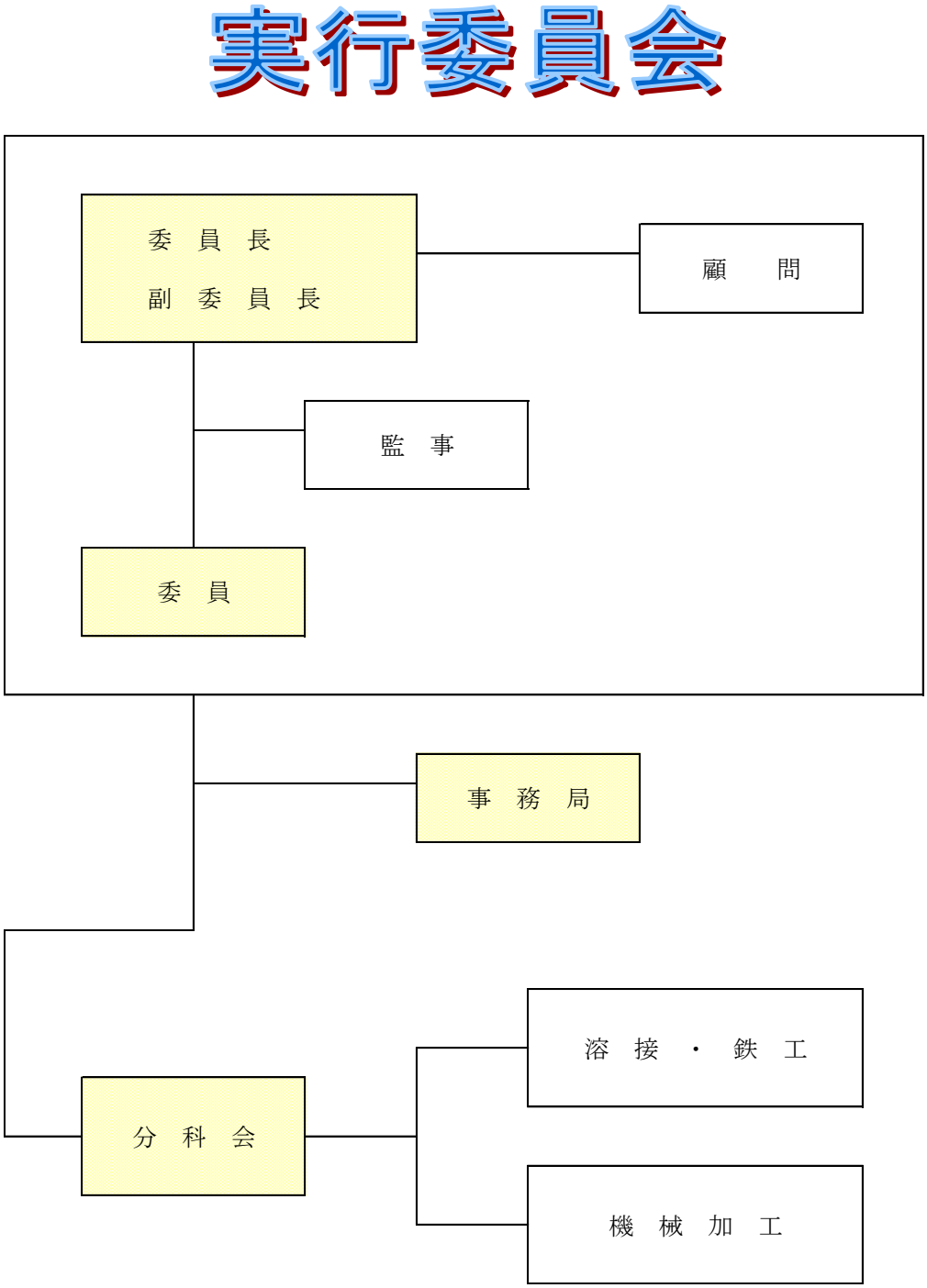
第５章　トライアル研修について …… 13
　第１節　実施計画 …… 13
　　1-1　目　的
　　1-2　トライアル研修の概要
　　1-3　受講生募集
　　1-4　講師の選定
　　1-5　その他
　第２節　研修内容と状況 …… 14
　　2-1　溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース …… 14

第3節　受講生及び講師アンケート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
3-1　溶接・鉄工分科会
1.溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース【受講生】
2.溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース【講師】

第6章　ものづくり体験研修について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
第1節　実施計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
1-1　研修の目的
1-2　研修の中止
1-3　研修の終了

第１章　組織及び役員、分科会、講師

第１節　組　織



第２節　職人塾実行委員会

| 役職名 | 氏　　名 | 在　職　団　体 |
|---|---|---|
| 委員長 | 三宅　照正 | 協同組合マリノベーション玉野　理事長 |
| 副委員長 | 宮原　一也 | 玉野鉄工協議会　会長 ・ 玉野地区雇用開発協会　会長 |
| 副委員長 | 大熊　力三 | 玉原鉄工業協同組合 理事長 |
| 監　　事 | 山下　浩二 | 玉野市産業振興部長 |
| 監　　事 | 実井　　準 | 玉野商工会議所 専務理事 |
| 委　　員 | 下岡　　崇 | 中国運輸局岡山運輸支局　首席海事技術専門官 |
| 委　　員 | 近藤　隆浩 | 中国運輸局岡山運輸支局　首席運輸企画専門官 |
| 委　　員 | 大谷　茂樹 | 玉野公共職業安定所　統括職業指導官 |
| 委　　員 | 山上　誠二 | 一般財団法人玉野産業振興公社　理事長 |
| 委　　員 | 二部野一郎 | 玉野市立玉野備南高等学校　校長 |
| 委　　員 | 田村　繁樹 | 玉野市立玉野商工高等学校　校長 |
| 委　　員 | 稲田　秀知 | ㈱三井Ｅ＆Ｓビジネスサービス 人事総務サービス部　室長 |
| | | |
| 顧　　問 | 黒田　　晋 | 玉野市長 |
| 顧　　問 | 川畑　昌平 | 中国運輸局岡山運輸支局　　次長 |
| 顧　　問 | 沖田　博司 | 玉野公共職業安定所　　所長 |
| 顧　　問 | 妹尾　　均 | 玉野市教育長 |
| 顧　　問 | 川﨑　正晴 | ㈱三井Ｅ＆Ｓホールディングス　　玉野総合事務所長 |
| 顧　　問 | 今岡　　雄 | 三井造船玉野ＯＢ友の会　　顧問 |
| | | |
| 事務局 | 五老海正登 | 玉野市産業振興部商工観光課　　課長 |
| 事務局 | 藤原　記子 | 玉野市産業振興部商工観光課　　参事 |
| 事務局 | 大出知江吏 | 玉野市産業振興部商工観光課　　係長 |
| 事務局 | 池上　　茂 | 一般財団法人 玉野産業振興公社　事務局長 |
| 事務局 | 柴田　圭一 | 一般財団法人 玉野産業振興公社　係長 |
| 事務局 | 吉川　由紀 | 一般財団法人 玉野産業振興公社　事務員 |

第3節　各分科会　幹事

| 分野 | 分科会幹事会社 | | 役職・氏名 | |
|---|---|---|---|---|
| 溶接・鉄工 | ［代表］ | 三井造船特機エンジニアリング株式会社 | 代表取締役社長 | 三宅　俊良 |
| | | | 総務部長 | 前原　守 |
| | | | 総務課長 | 梶原　勇治 |
| | | 三国工業株式会社 | 代表取締役社長 | 三宅　照正 |
| | | | 経営管理部課長 | 細谷　静男 |
| | | | | 三宅　正倫 |
| | 技術顧問 | 株式会社三井Ｅ＆Ｓビジネスサービス | 人事総務ｻｰﾋﾞｽ部玉野分室課長補佐 | 藤井　康之 |
| 機械加工 | ［代表］ | 近藤工業株式会社 | 代表取締役社長 | 近藤　幸宏 |
| | | 株式会社大熊製作所 | 代表取締役社長 | 大熊　力三 |
| | | 株式会社宮原製作所 | 品質保証部長 | 伊加　勝 |
| | | 長尾鉄工株式会社 | 工場長･製造部長 | 末長　忠 |
| | 技術顧問 | 株式会社三井Ｅ＆Ｓマシナリー 玉野機械工場 | 加工部長 | 山口　克己 |
| | | 独立行政法人<br>高齢･障害･求職者雇用支援機構岡山支部<br>岡山職業能力開発促進センター | 訓練課長 | 森岡　智 |

第4節　講師　（順序不同）

| 分野 | 氏名 |
|---|---|
| 溶接・鉄工 | 野上 進、藤井 康之、木村 亮太、木口 英之、橋本 真央、藤川 達哉、真柴 和史、寺尾 和真、片岡 龍二、若田 達明、的場 俊彦、宗綱 廉、片山 佳紀、熊代 暢、長谷井 世怜、合原 寛、串田 青悟、筒井 康裕、筒井 太一、奥川 俊徳、大賀 康人、近藤 昌志、永畑 光一、原田 佑也、坂本 喜一、安藤 嘉之、松岡 潤太、天川 武士、仕田原 克仁、下村 修平、福原 隼、和田 亮一、庄司 涼平、大賀 勝彦、松本 忠志、前谷 一慶、宮原 寛宝、坪下 直樹、柴田 繁、藤井 実、前原 守、梶原 勇治<br>（42名） |
| 機械加工 | 令和2年度の研修は中止のため該当なし<br>（0名） |

## 第 2 章　事業の起源・目標・指標

### 第 1 節　事業の起源

玉野市は、これまで造船を中心とする機械工業のまちとして発展してまいりました。しかし、近年少子高齢化、高学歴化、若者の製造業離れ、更には団塊世代の大量に定年退職と言う転換期を迎え、製造業における後継者問題、衰退等が大いに懸念される状況になっていました。

平成 18 年度に市内製造業関係者の約 2,000 名にアンケート調査を実施したところ、50 代、60 代以上が約 5 割を占めており、ここ 10 年以内に当市内でも現実問題としてその影響が課題として解りました。

このことにより、これまで培ってきた技術が薄れていくことや製造業自体の衰退、まちの衰退に繋がるのではないのかとの懸念が設立のきっかけになりました。

この様な状況の中、平成 18 年度に内閣官房都市再生本部の都市の再生助成事業に応募し、全国都市再生モデル調査として“「技術のまち玉野」再生。若者就労支援策キャリア形成職人塾設立に関する調査事業”として採択を受けたのが起源となっております。

### 第 2 節　事業の目的

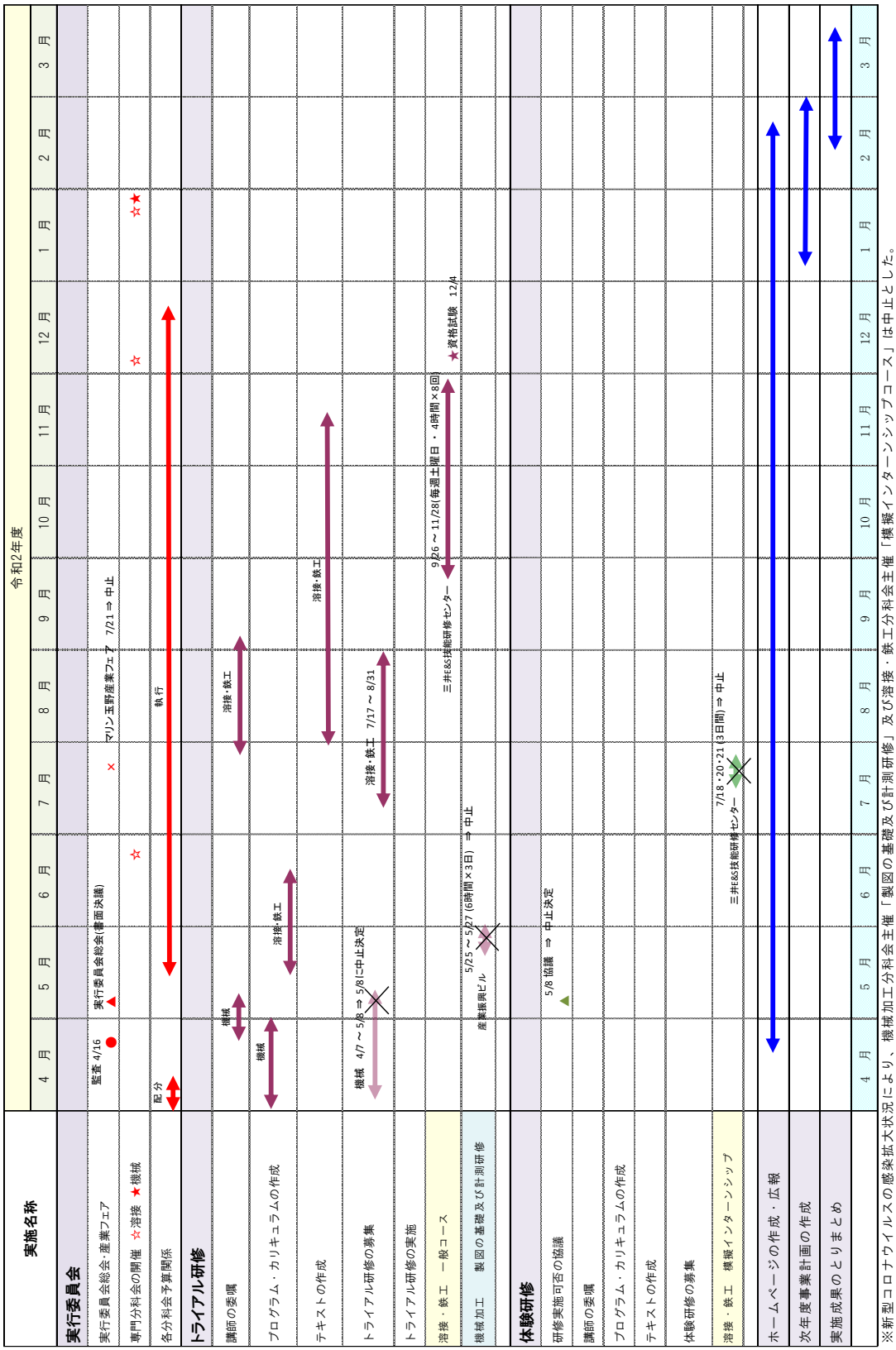
中小型造船機械工業等における技術・技能水準の維持発展を図ることを目指し、新規に就業する若者等へ基礎的技術を学ばせると共に、中堅技術者が高度な技術を身につけるため、熟練技術者が保有する機械加工や溶接等の技術について体系化等を進めるなど、その習得基盤を整備することにより機械工業の振興に寄与するものです。

### 第 3 節　事業の必要性

若者に対し、ものづくりの喜びやこれまで培われた技術や技能を伝承するとともに、中堅技術者に一層高度な技術習得を促し、改めて製造業に対する関心を高めことによって、定住促進を図るものです。

このことは、中小型造船機械工業等における技術及び技能を伝承していく基盤を整備し、その確立を図るとともに製造業に従事している若者の機械工業に対する理解を広めることの重要な意義を有しており、きめ細やかな地域の中小企業の支援となります。

## 第 1 節　全体活動実績表




※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、機械加工分科会主催「製図の基礎及び計測研修」及び溶接・鉄工分科会主催「模擬インターンシップコース」は中止とした。

職人塾実行委員会事務局

## 第２節　職人塾実行委員会総会の概要

令和２年５月８日（金）令和元年度 職人塾実行委員会 総会

※ 新型コロナウイルス感染症対策を考慮して、書面表決として開催しました。

### 議　事

| | | |
|---|---|---|
| 議案第１号 | 実行委員長、副委員長及び監事の選任について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第２号 | 役員、顧問及び幹事の選任について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第３号 | 令和元年度職人塾事業報告について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第４号 | 令和元年度職人塾収支決算報告について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第５号 | 令和２年度職人塾事業計画(案)について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第６号 | 令和２年度職人塾収支予算(案)について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第７号 | 令和２年度職人塾溶接・鉄工分科会事業計画(案)について | 賛成 29 ， 反対 0 |
| 議案第８号 | 令和２年度職人塾機械加工分科会事業計画(案)について | 賛成 29 ， 反対 0 |

### 結 果

すべての議案について、全会一致で承認されました。

## 第 3 節　各分科会の会議概要

分科会毎に適時会議を開催し、本塾の運営を円滑に実施推進するため、各課題について協議しました。

### (1) 溶接・鉄工分科会の議事概要

| No. | 日　　時 | 場　　所 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 令和 2 年 6 月 25 日 | 三井 E&S ホールディングス 技能研修センター | ・溶接 一般コース 実施可否について<br>・溶接 一般コース 受講生募集及び対象について<br>・溶接 一般コース 研修カリキュラムについて<br>・溶接 一般コース 講師の選出等について　他 |
| 2 | 令和 2 年 12 月 3 日 | 三井造船特機エンジニアリング会議室 | ・溶接 一般コース 反省会及び意見交換 |
| 3 | 令和 3 年 1 月 18 日 | 三井 E&S ホールディングス 技能研修センター | ・令和 2 年度分科会活動完了報告、事業評価<br>・令和 3 年度の活動についての検討　他 |

### (2) 機械加工分科会の議事概要

| No. | 日　　時 | 場　　所 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 令和 2 年 1 月 25 日 | 産業振興ビル グループ研究室② | ・令和 3 年度の活動についての検討<br>製図の基礎及び計測研修 研修日程について<br>製図の基礎及び計測研修 プログラムについて<br>製図の基礎及び計測研修 開催場所について 他 |

第４章　広報・啓発活動について

第１節　マリン玉野産業フェアへの参画

マリン玉野産業フェアは、玉野公共職業安定所や玉野地区雇用開発協会等が主体となって、来春の就職を目指す高校生、求職中の市民等に地域の企業を紹介し、当市の製造業の実態を理解してもらうものでありましたが、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、中止となりました。

第２節　ホームページでの広報

「職人塾」の実施にあたり、本塾の実施計画、実施時期、科目、募集要項等を適時ホームページに掲載し広く公開することによって、ものづくりに対する興味の喚起と研修への参加を促しました。

http://www.zai-tama7.or.jp/
・募集要項の掲載　　令和２年４月　及び　随時更新

第5章：トライアル研修について

第1節　実施計画

1-1　目　的

企業従事者、一般市民、求職者等を対象に機械器具製造業についての技術・技能水準の維持発展を目指し座学・実習の研修を行うことにより、機械工業の振興並びに地域市民のものづくりへの関心の喚起を促すものであります。

1-2　トライアル研修の概要

各研修コース概要一覧

| 分科会 | 研修名 | 受講生数 | 研　修　概　要 | 時　間 | 期　間 | 場　　所 | 対象者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 溶接<br>・<br>鉄工 | 溶接<br>一般コース | 136 | 溶接技術・技能の座学及び実習<br>・$CO_2$ 半自動溶接のJIS 資格受験対策他 | 32 時間<br><br>座学<br>9 時間<br>実技<br>23 時間 | 9/26～11/28<br>4 時間×8 回<br>毎週土曜日<br><br>※10/10、11/14は休講 | 三井E&S ホールディングス<br>技能研修センター | 一般<br>・<br>求職者 |

1-3　受講生募集

玉野産業振興公社のホームページ、玉野市広報、玉野公共職業安定所、関係団体、各企業へ募集活動を行い、企業の従業員並びに求職者を対象として研修を実施しました。

1-4　講師の選定

これまでの講師実績を基にご協力いただいた企業の社員並びにＯＢの方々より選定いたしました。

1-5　その他

■ 製図の基礎及び計測研修

・前年度と同様に全 3 回にて企画・募集を行いましたが、5 月 8 日にポリテクセンター岡山より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修中止の申し入れがあり、今年度の研修を中止といたしました。

■ 溶接 一般コース

・令和2年度から日数を2日減らし、全8回にて実施しました。
・JIS 溶接技能者評価試験対策に特化した内容で実施しました。
・求職者も受講対象としており、令和2年度は求職者1名を受け入れました。
・技能習得が早い一部の受講生に対して、SA-3F/3V の指導を実施しました。
・閉講後の 12 月 4 日(金)には、受講生全員が JIS 溶接技能者評価試験を受験し、14 名合格しました。
※ SA-2F：11 名、SA-2F/2V：2 名、SA-3F：1 名
※ 実技合格率：100％

第 2 節　研修内容と状況

2-1　溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース

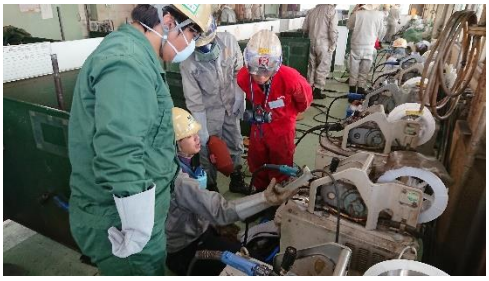
溶接 一般コースの募集案内

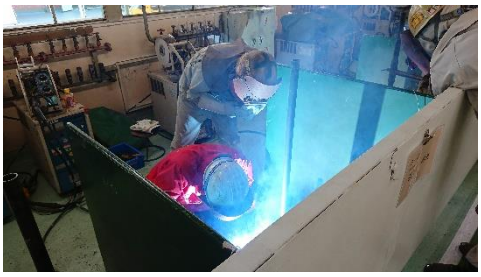
溶接 一般コースのプログラム

| No. | 実 施 日 | 研修時間 | 研 修 内 容 |
|---|---|---|---|
| 第 1 回 | 9 月 26 日(土) | 開講式<br>8:00 ～ | |
| | | 座 学<br>～ 10:30 | 安全教育<br>・三井 E&S ホールディングス玉野事業所 構内に於ける規則及び一般安全、注意事項教育<br>・一般コース内容及び溶接作業向け安全教育 |
| | | 座 学<br>10:40 ～ 12:00 | 図面の見方と組立方法を学習<br>・造船組立、船の組立方法<br>・造船図面の見方<br>・溶接縮み代の考え方等 |
| 第 2 回 | 10 月 3 日(土) | 座 学<br>8:00 ～ 9:00 | $CO_2$ 溶接機の特性を学習<br>・溶接機の構造と操作、電気の知識<br>・半自動溶接機の知識、半自動溶接機の取扱い |
| | | 実 技<br>9:05 ～ 12:00 | 半自動溶接<br>・$CO_2$ 溶接下向き隅肉多層盛りを実習<br>・材料；T9 × 200 × 200 |
| 第 3 回 | 10 月 17 日(土) | 座 学<br>8:00 ～ 9:00 | 鉄鋼材料と溶接材料を学習<br>・鉄鋼材料、鋼溶接部の材質変化<br>・溶接性、鋼のじん性と遷移温度 |
| | | 実 技<br>9:05 ～ 12:00 | 半自動 JIS 評価試験練習<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-2F)<br>・材料；T9 × 200 × 200 |
| 第 4 回 | 10 月 24 日(土) | 座 学<br>8:00 ～ 9:00 | 溶接部の検査方法を学習<br>・試験と検査、破壊検査、非破壊検査 |
| | | 実 技<br>9:05 ～ 12:00 | 半自動 JIS 評価試験練習<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-2F)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-2V)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-3F)<br>材料：T19 × 200 × 200<br>※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施 |
| 第 5 回 | 10 月 31 日(土) | 座 学<br>8:00 ～ 9:00 | 学科試験　受験準備講義(No.1、2、3) |
| | | 実 技<br>9:05 ～ 12:00 | 半自動 JIS 評価試験練習<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-2F)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-2V)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$ 溶接下向 SA-3F)<br>材料：T19 × 200 × 200<br>※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施 |

| No. | 実 施 日 | 研修時間 | 研 修 内 容 |
|---|---|---|---|
| 第 6 回 | 11 月 7 日(土) | 座 学<br>8:00 ～ 9:00 | 学科試験　受験準備講義(No.4、5) |
| | | 実 技<br>9:05 ～ 12:00 | 半自動 JIS 評価試験練習<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-2F)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-2V)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-3F)<br>材料；T19 × 200 × 200<br>※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施 |
| 第 7 回 | 11 月 21 日(土) | 実 技<br>8:00 ～ 12:00 | 半自動 JIS 評価試験練習<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-2F)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-2V)<br>材料：T9 × 200 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-3F)<br>材料；T19 × 200 × 200<br>※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施 |
| 第 8 回 | 11 月 28 日(土)<br>試験本番<br>の練習 | 実 技<br>8:00 ～ 11:00 | 半自動 JIS 評価試験練習<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-2F)<br>材料：T9 × 200 × 200 、T9 × 125 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-2V)<br>材料：T9 × 200 × 200 、T9 × 125 × 200<br>・JIS 受験練習($CO_2$溶接下向 SA-3F)<br>材料；T19 × 200 × 200<br>※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施 |
| | | 閉講式<br>11:15～ | |

研修写真（溶接 一般コース）





トライアル研修溶接一般コース閉講式

## 第 3 節　受講生及び講師アンケート

### 3-1　溶接・鉄工分科会

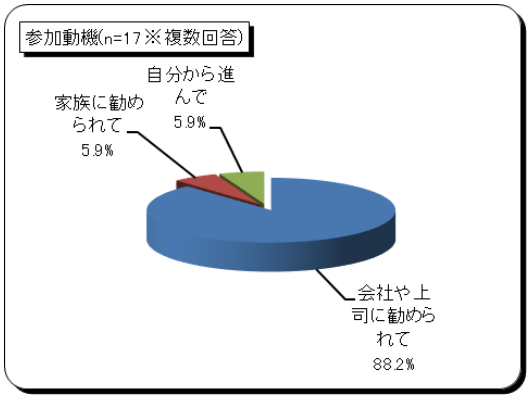
1. 溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース【受講生】

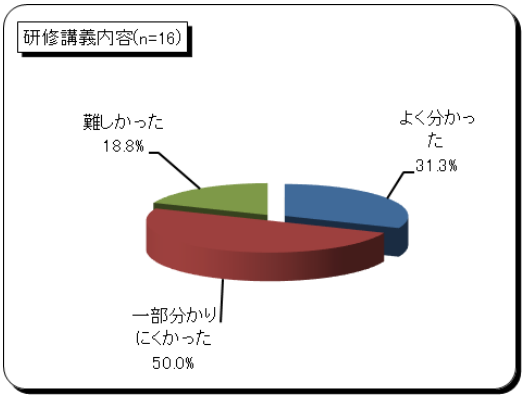
2. 溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース【講師】

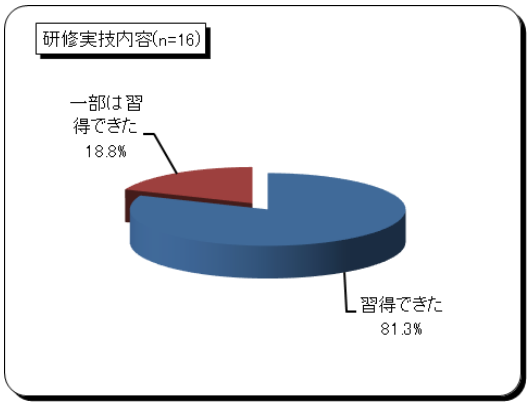
3-1　溶接・鉄工分科会

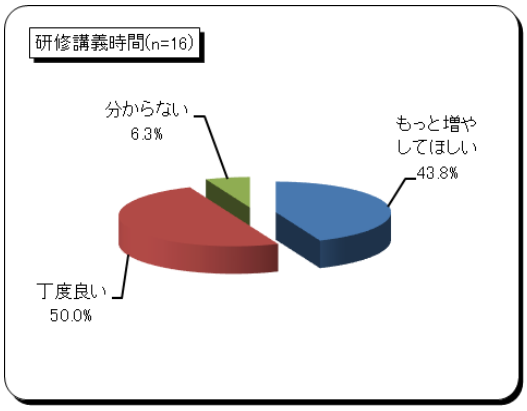
1. 溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース【受講生】

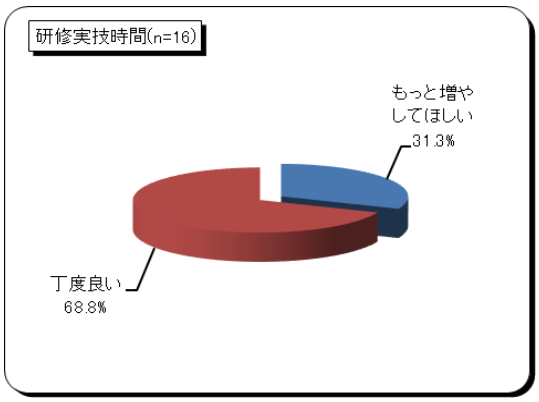
本項は、令和 2 年 9 月 26 日から令和 2 年 11 月 28 日まで（延べ 8 日間）に実施しました「溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース」の受講生 16 名からのアンケート回答についてまとめたものです。

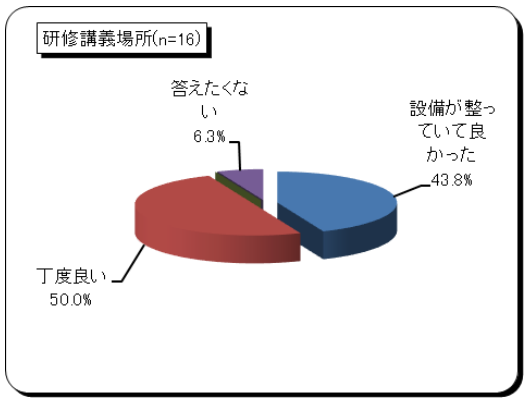


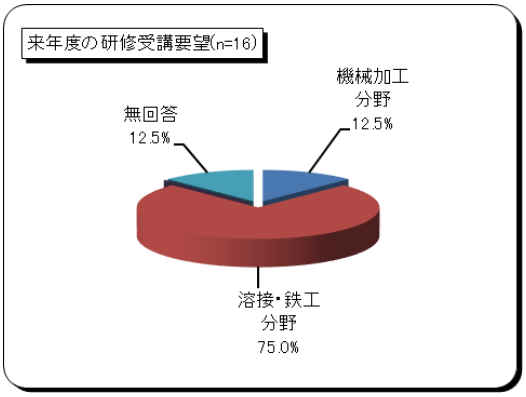



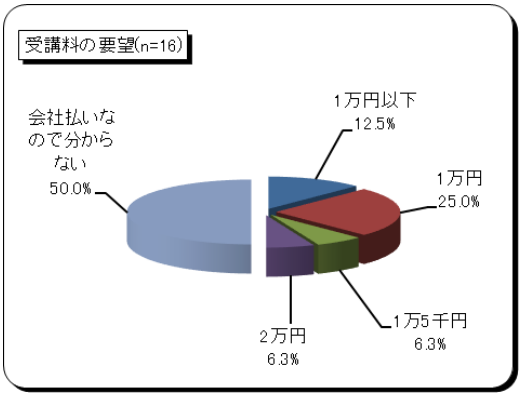






**研修の希望等**

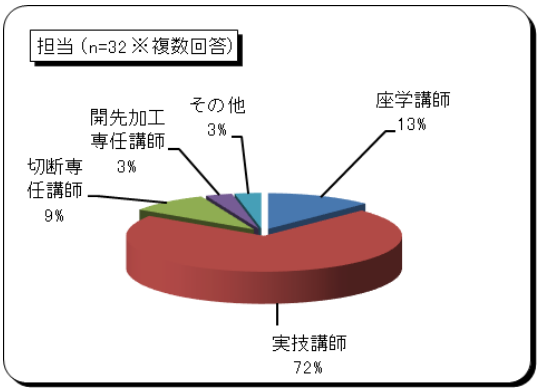
- とても丁寧なご指導でわかりやすかったです。お世話になりました。
- 技能検定の資格取得。もう少し実技の回数が多くても良かった。
- 今のままで良いと思います。
- 回数を増やしてほしい。
- 講義の時間をもう少し長くしてほしいです。

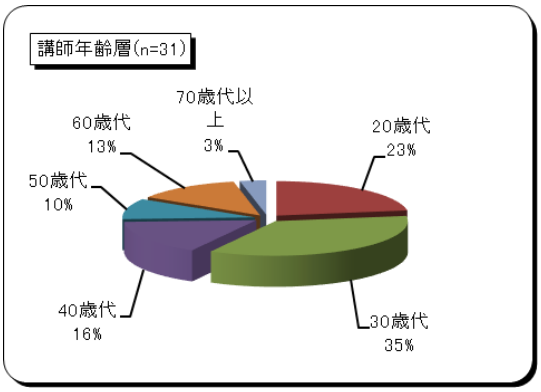
**研修の感想**

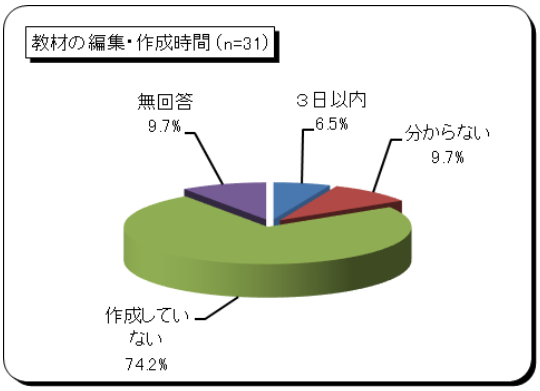
- 自分がダメな所を自覚することができたので、よかったです。この研修で学んだことを、これからの行動にいかして頑張っていきます。
- 未経験でも技能の取得ができた。
- 受講することによって、技術の方が上がったので良かったです。
- たくさんの知識､たくさんの技術を､ベテランの講師の方々のおかげで学べて良かったです。
- 溶接が上達した。
- わからない事があったら、丁寧に先生が教えてくれました。研修を受けて良かったと思いました。
- 教えてくれる人が、わかりやすくて良かったです。
- 先生方の教え方がわかりやすかった。ポイントを教えてくれるので、今のやり方が良いと思いました。改善要望点はありません。
- 溶接などいろいろと知らないことが学べてよかった。
- 内容がわかりやすかった。
- 他社の講師のアドバイスを貰えたことが良かった。
- 溶接の基本、応用、知識を学べた。これから試験に合格し、仕事にいかしたいと思います。
- 講義がかけ足で進んだため、わからない時があった。
- 溶接はそんなにしないので、教えてもらえてよかった。
- 今まで出来なかった溶接が、上手く出来るようになった。

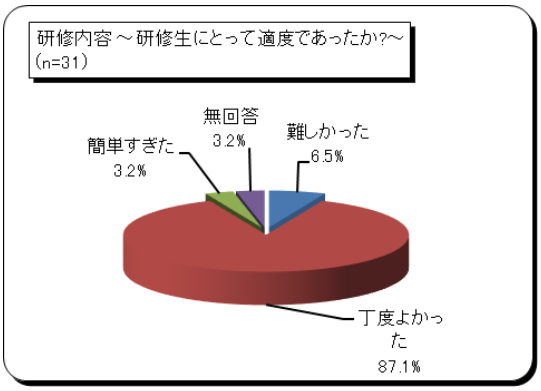
## 2. 溶接・鉄工分科会　溶接 一般コース【講師】

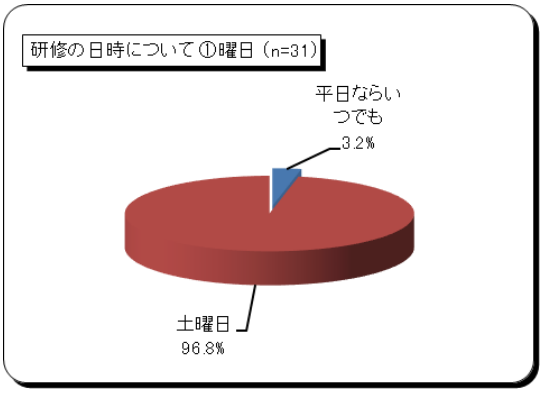
本項は、令和 2 年 9 月 26 日から令和 2 年 11 月 28 日まで（延べ 8 日間）に実施しました「溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース」の講師 42 名中 31 名からのアンケート回答についてまとめたものです。

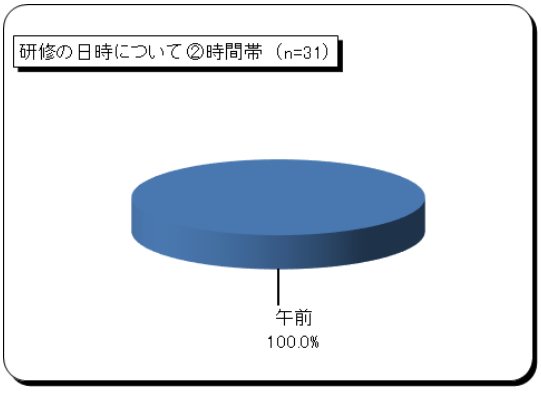


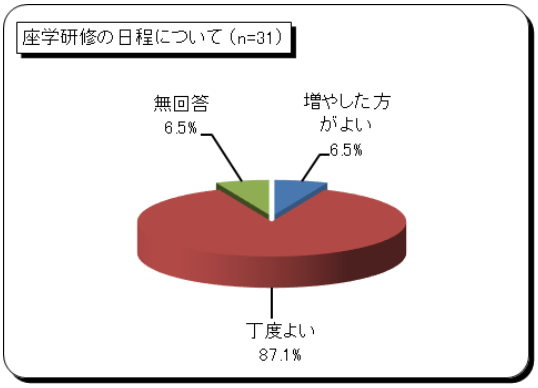



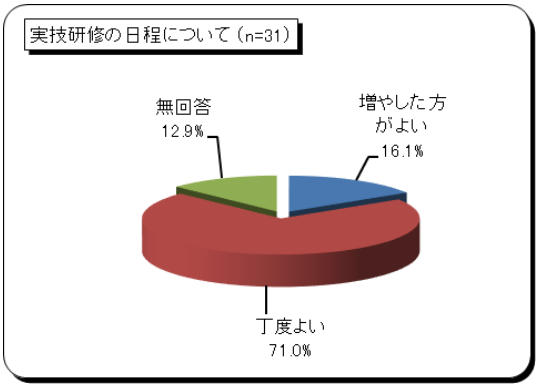



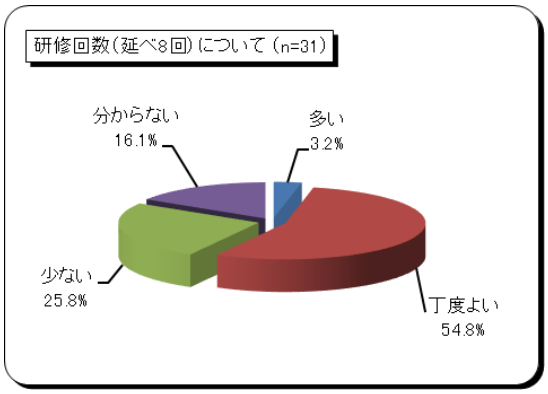



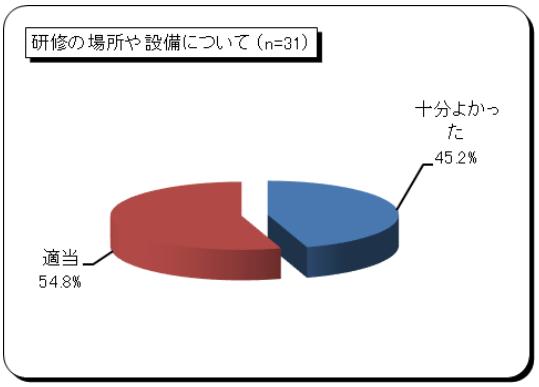



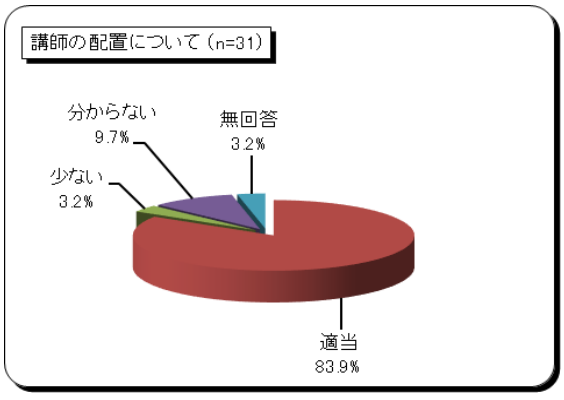



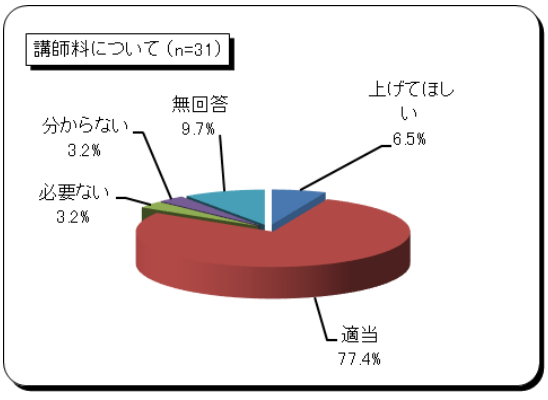

座学研修の日程について（n=31）
無回答
6.5%
増やした方がよい
6.5%
丁度よい
87.1%

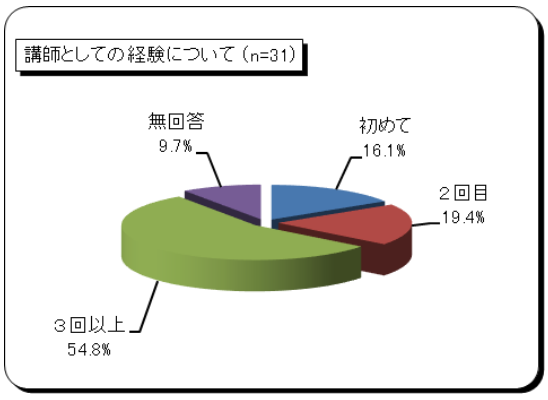

実技研修の日程について（n=31）
無回答
12.9%
増やした方がよい
16.1%
丁度よい
71.0%

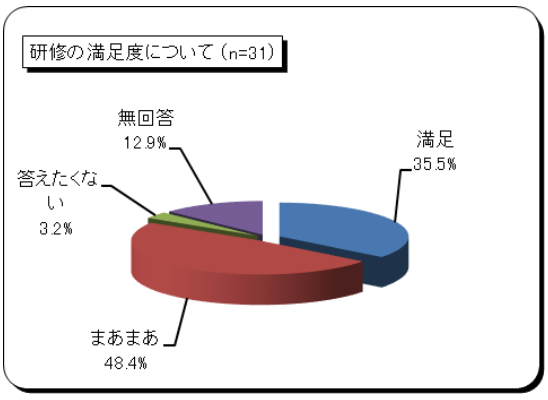

研修回数（延べ8回）について（n=31）
分からない
16.1%
多い
3.2%
少ない
25.8%
丁度よい
54.8%

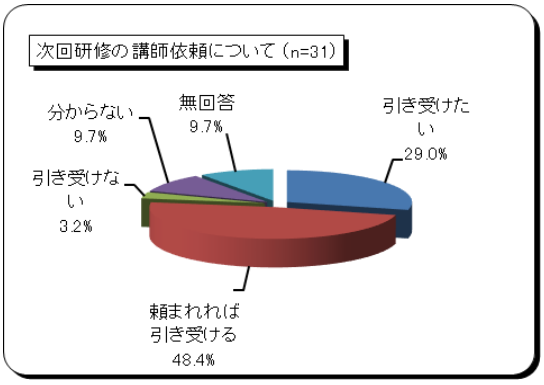

研修の場所や設備について（n=31）
十分よかった
45.2%
適当
54.8%

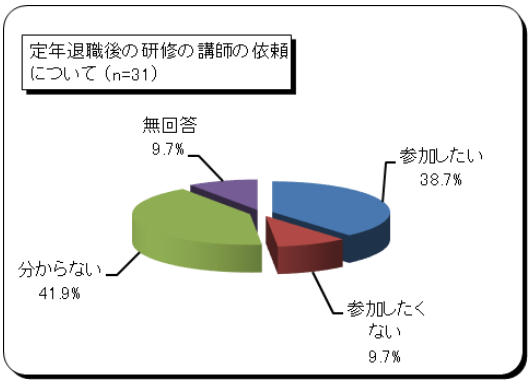

講師の配置について（n=31）
分からない
9.7%
無回答
3.2%
少ない
3.2%
適当
83.9%


講師料について（n=31）
無回答
9.7%
上げてほしい
6.5%
分からない
3.2%
必要ない
3.2%
適当
77.4%


講師としての経験について（n=31）
無回答
9.7%
初めて
16.1%
2回目
19.4%
3回以上
54.8%


研修の満足度について（n=31）
無回答
12.9%
満足
35.5%
答えたくない
3.2%
まあまあ
48.4%




### 研修目標、新しい課題の導入、改善要望について

- 技量が不足している受講生へのマンツーマン指導。
- 資料の見直しをしたいが、OB としては難しい面がある。次期担当者に願う。
- 資料の映像や画像の改良。
- 未経験者は、マンツーマン指導でないと期間内は厳しい方も居ます。
- 経験者には、もっと難しい実技でも良かったと思う。
- 何か製品を作ってみる。
- TIG 溶接　※4 名回答
- 来年より MES としては､商船部門の廃止により､座学の内容も変える必要があると考えます。新たな職種教材作成を求めます。この期を区切りに模擬インターンシップコースのモデルシップを含む職人塾担当を辞退させて頂きたくお願いします。
- 対話形式の講習
- 研修の目標は JIS でいいと思う。
- JIS に合格
- アーク溶接などいいと思います。
- TIG やパイプなどがあっても面白いと思う。
- 今のままでいいと思います。
- １時間あたりの希望講師料（謝金）4,000 円／時間 ※2 名回答

### 研修の感想等

- 人に教えることは大変で、自分自身の知識が必要だと分かりました。実技研修に関しては、手応えを感じました。
- 教えることで、もう一度初心に戻る事が出来て良かったと思います。
- 受講生の方がいろいろ質問してくれたので良かったと思う。
- 未経験者が上達していく姿は、見ていて楽しかった。
- 受講生の人がかなりやる気があり、教えるのが楽しかった。
- 受講生のみなさんが上達したいという意欲がとてもあり、教えていて楽しかったです。
- 講師も教えることによっていい勉強になったので、会社に帰っても活かしていきたい。
- 機械に初期電流がないので、ある機械に変えた方が望ましい。
- 照明が足りないので、各ブースを明るくしていただきたい。

■ 研修期間も短い中、受講生のみなさんはよく頑張っていたと思います。
■ 各人のやる気を上げるような策がいるのでは？なぜ職人になりたいのか…？
■ 研修の内容について、評価や改善についての情報があればいいと思う。
■ トーチ等新しいものがあればいいと思った。
■ 人に教えるのは大変だという事がわかった。
■ 少量でも溶接用のペンチがあればいいと思います。
■ 他の会社の人と交流が出来るのも良かったと思う。また機会があればお願いします。

# 第 6 章　ものづくり体験研修について

## 第 1 節　実施計画

### 1-1　研修の目的

主として高校生並びに市民へ「技術のまち玉野」の再認識及び理解の促進を図るとともに「ものづくり」の喜びや創造の楽しさ等興味の喚起を行い、地元就職率・定着率向上を目的としております。

### 1-2　研修の中止

三井 E&S ホールディングス技能研修センターでの実習主体で 3 日間の研修を企画立案しましたが、令和 2 年 5 月 11 日に関係者と協議を行った結果、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

### 1-3　研修の終了

平成18年度から研修を開始し、これまで延べ235名の高校生等を受け入れてきましたが、担当する溶接・鉄工分科会より、以下の理由で「体験研修 模擬インターンシップコース」の令和 2 年度をもって終了の申し入れがあり、研修の終了を決定しました。

【終了する理由】

- 玉野市が実施している「玉野市立高等学校インターンシップ事業」において、高校生を受け入れる企業が増加したことにより、職人塾としての一定の役目を終えたと考えている。
- 今後、三井Ｅ＆Ｓホールディングス構内において、艦船工場の見学が困難になると想定されること。
- 工場見学、実習、モデルシップ製作の一連の関連性を保つのが困難となったこと。
- モデルシップ製作を担当するメインの講師より退任の申し出があったこと。

**令和２年度職人塾 報告書**

発行日　令和３年３月
発行所　一般財団法人 玉野産業振興公社
〒706-0002
玉野市築港１丁目１番３号
電話 (0863)33-5000
e-mail　san-bill@zai-tama7.or.jp
URL　http://www.zai-tama7.or.jp/